令和　　年　　月　　日

公益財団法人富山県新世紀産業機構

　理 事 長　　　　　　　　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ＜申請者＞

住　所

企業名

代表者役職・氏名

令和　年度 アルミ産業成長力強化戦略推進事業アルミ循環配慮事業費補助金

交付申請書

アルミ産業成長力強化戦略推進事業アルミ循環配慮事業を実施したいので、アルミ産業成長力強化戦略推進事業アルミ循環配慮事業費補助金交付要綱第５条の規定により、下記の書類を添えて提出します。

記

１　研究開発実施計画書

２　誓約書（別紙）

３　決算報告書　（直近１年間の貸借対照表、損益計算書、個別注記表）

※ 決算書がない場合は、最近１年間の事業内容の概要を記載した書類

４　会社概要

責任者及び事務担当者

・責　任　者　役職・氏名：

　　　　　　　　　　（連絡先：　　　－　　　－　　　　）

・事務担当者　所属・氏名：

　　　　　　　　　　（連絡先：　　　－　　　－　　　　）

**令和７年度アルミ産業成長力強化戦略推進事業アルミ循環配慮事業**

**研究開発実施計画書**

１． 研究開発の分野・名称（該当する分野を、〇で囲んでください。）

（設計、製造、回収、リサイクル）

名称： ○○の△△法による精度の向上に関する研究

|  |
| --- |
| 本研究の内容について、簡単に（専門外でも理解できるようにわかりやすく）３行程度で記述してください。 |

２．参加する研究者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 記号 | 会社・機関名 | 研究者の所属・役職・氏名 |
| a | 新世紀株式会社 | 開発部　部長　神通 一郎　076-444-1234jinzu@shinseiki.co.jp |
| b | 新世紀株式会社 | 開発部　磯部 花子 |
| c | 立山大学 | 理工学部　教授　剣 裕一郎　076-555-9876 |
|  |  |  |

※ 当機構との連絡窓口となる方に○を付け、E-Mailアドレスを記載してください。

３．研究開発の実施項目・実施予定

|  |  |
| --- | --- |
| 実 施 項 目 | 具体的内容と参加機関・個人の役割分担 |
| ① ○○の設計・試作② ○○の製作③ △△の評価・試験④ ××の分析⑤ 報告書の作成 | ○○の設計し・・・行う。新世紀㈱a,b、立山大学c○○の組み立て・製作を・・行う。新世紀㈱b△△の試験し・・評価する。新世紀㈱b、立山大学c××を▼▼装置で分析する。立山大学c報告書を作成する。新世紀㈱a,b、立山大学c |
| 実施予定（月）実施項目（上記連動） | ４ | ５ | ６ | ７ | ８ | ９ | 10 | 11 | 12 | １ | ２ |
| ① ○○の設計・試作② ○○の製作③ △△の評価・試験④ ××の分析⑤ 報告書の作成 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

４．研究開発の概要（実施内容等全体が分かるように、まとめてください）

（１）本研究開発の背景と目的

・開発対象となる技術・製品・事業の背景や現状を分かりやすく示し、本研究に取り組む理由とその目的が明確に伝わるように記述してください。

　　※アルミ循環配慮への取組みについて、資源フロー図等を用いて説明してください。

（２）本研究開発の技術課題と達成目標

・現状で具体的にどのような問題があり、その課題をどのレベルまで達成するのか。最終的な全体の数値目標及び実施年度ごとの数値目標をそれぞれ挙げて記述してください。

例：現状の○○では、0.01mmと精度が悪く、航空機などの高度な製品には使用できないので、精度を0.001mm以下にする。など

（３）本研究開発の基礎となるこれまでの成果

・提案までに実施された基礎となる研究と、その成果について記述してください。

例：素材は異なるが精度を向上させることができる△△法は10年以上の実績があり、○○にも適用できる。

（４）本研究開発における実施事項（達成目標の実現手段として、具体的に記入ください）

・研究開発の実施事項については、前述「３．研究開発の実施項目・実施予定」の各項目（①～⑤の例）と整合性を取ってください。また、複数年度にわたり実施する場合は、実施年度ごとにそれぞれ何をするか、わかるように記述してください。

・前述した課題について、どのような手段で解決しようとするのか。具体的に記述してください。

・そして、研究の実施事項について箇条書きで記述し、実施年度ごとにその具体的な目標数値を記述してください。

例：△△法による○○の改良

○○については△△法を適用することで、従来の10倍の0.001mm以下の精度を達成する。

（５）説明図表

・前項までに説明した内容を、図や表を用いて分かりやすく説明してください。

＜従来技術＞　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＜新技術＞

（例）必要に応じ図、表、写真等を取り込み分かりやすい内容にまとめてください。

５．研究開発の補足説明

（１）新規性・独創性（開発する技術・製品等と従来技術・製品等との違う所は何か？）

例：△△法は当社の独占的な技術であり、特許も有している。その技術を○○に適用する例は他になく、独創的である。

（２）アルミ関連産業におけるサーキュラーエコノミー移行への波及効果

（３）商品化・事業化への見通しと計画（具体的に）

例：○○については既に独自の販売網を有しており、△年○月をめどに、これらを駆使して販売を行う。

事業終了後の計画（記載例）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実施項目 | １年目 | ２年目 | ３年目 |
| ・ 試作品評価・ 実証試験・ 量産化準備・ マーケティング・販売計画立案・ 販売開始 |  |  |  |  |  |  |

・事業終了後、その成果をもとに商品化・事業化までの具体的な計画（スケジュール、販売対象、方法、関係企業や関係機関等との協力体制など）について記述してください。

（４）富山県産業・経済・社会への波及効果

例：高精度な○○が商品化されれば、これらを部品として利用する県内産業に供給することができ、応用先での高品質製品となり、富山県の産業・経済・社会の発展につながるものと思われる。

６．専門用語等の解説

例：△△法とは・・・・・

７．関連した補助金等の申請・受け入れ実績

例：「△△法の開発」令和○年度、富山県◇◇補助金

８．収支予算書

別添のとおり